

肝炎ウイルス検査の結果が 陽性と判定された方へ (B型・C型)

専門医療機関で **精密検査**を 受けましょう

肝炎ウイルスに感染していても症状が出ることはまれなため
「体がだるい」などの症状に気付くころには、重症となってしまうことがあります。

早期発見・早期治療が大切です。

陽性と判定されたら、精密検査を受け、自分の状態を確認し、
必要な検査や治療を受けてください。

熊本県では

初めての精密検査に係る費用について
助成を行っています

次の①から⑥の肝炎ウイルス検査で陽性と判定されてから、1年以内に県の指定する
医療機関で受けた精密検査が対象です。

- ①県保健所で行った検査
- ②熊本県又は熊本市における委託医療機関で行った検査
- ③市町村が実施する健康増進事業の検査
- ④職域で実施する検査
- ⑤母子保健法に基づき市町村が実施する妊婦検診時の検査
- ⑥手術前に実施する検査

詳細は
裏面またはHPを
ご覧ください



申請の手続き

助成の要件を確認

- 熊本県内に住所を有している
- 公的な医療保険に加入している
- 陽性（+）と判定されてから精密検査まで1年以内

県の指定する医療機関で

精密検査を受ける

- 熊本県肝疾患専門医療機関で精密検査を受ける
- 窓口で請求された検査費用を支払う
 - ※受け取った領収書・診療明細書は保管してください
 - ※検査日が複数にわたっても、おおむね1か月以内で年度内に終了する場合も対象となります

精密検査日の翌年度4月末までに

県へ申請

- 県の健康危機管理課へ次の書類を提出する（郵送・持参）
 - ・費用請求書
 - ・肝炎ウイルス検査結果通知書
 - ※妊婦検診の場合、母子健康手帳の写し
 - ・精密検査の領収書・診療明細書
 - ・フォローアップ事業参加同意書（県又は市町村）



※手術前の検査の方は、手術の診療明細書もご提出ください
 ※職域検査受検証明書がある場合はご提出ください

助成対象となる検査

検査項目	B型肝炎ウイルス	C型肝炎ウイルス
血液形態・機能検査	末梢血液一般検査、末梢血液像（自動機械法）	
出血・凝固検査	プロトロンビン時間（PT）、活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）	
血液化学検査	総ビリルビン（BIL/総）、直接ビリルビン（BIL/直）、総蛋白（TP）、アルブミン（BCP改良法・BCG法）（Alb）、アルカリホスファターゼ（ALP）、コリンエステラーゼ（ChE）、γ-グルタミルトランスフェラーゼ（γ-GT）、総コレステロール（Tcho）、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（AST）、アラニンアミノトランスフェラーゼ（ALT）、乳酸デヒドロゲナーゼ（LD）	
腫瘍マーカー	α-フェトプロテイン（AFP）、AFP L3 %、PIVKA-II半定量、PIVKA-II定量	
肝炎ウイルス関連	HBs抗原、HBs抗体、HBVジェノタイプ判定等（HBs抗体等）	HCV血清群別判定等
微生物核酸同定・定量検査	HBV核酸定量	HCV核酸定量
画像診断	超音波検査（断層撮影法（胸腹部））	

県の制度のお問合せ・提出先

熊本県健康福祉部健康危機管理課

☎096-333-2783

〒862-8570（住所が省略できます）

熊本市中央区水前寺6-18-1

お住まいを管轄する保健所に持参することも可能です

肝疾患全般や受診医療機関などの相談窓口

熊本県肝疾患センター
（熊本大学病院内）

☎096-372-1371

